



口内炎を確実に早く治す
新しい対処法が登場

効くNEWS

のみ薬、ステロイド貼付薬… 口内炎に効く市販薬が続々

のなかにボツンと白いたれ
がで、食べ物が触れるたびに
痛めのが口内炎。通常は1~2
週間で自然に治る身近な症状だ
が、これまでには効果的な対処法
がなかったため、「治るまでひ
たすら我慢」という人がほとん
どだった。しかし、最近では新
タイプの市販薬が登場。レーザー
治療などの方法もある。積極
的にケアしていく。

そもそも「口内炎ができるの
なぜか」「口の中は、常に過酸
な条件にさらされている」と話
すのは、昭和大学歯科病院の新
谷教授。0℃から40℃の幅ぐ
まで、様々な温度の食べ物、飲
み物が直接入ってくるため、急
激な温度変化にも耐えなければならない。
魚の骨などと硬利なもので傷つけられることが多い。
「体力が低下したり、ストレス
で口の中が乾燥したりすると、
貼ついた粘膜を摩擦する能力が
低下し、常に奥(口の中に常に常
いる細菌)が增多して炎症が起き
る『新計教授』といわゆる」。

市販薬も続々登場し、セルフ
ケアの選択肢が広がっている。
例えば、薄い円盤状のパッチを
常生活に貼りきる場所は、
炎症的にケアしたい」。

「新計教授」というわけだ。

痛みが強くて食事ができなくな
ったり、不快感が強いなど、日
常生活に支障をきたす場所は、

使う「ステロイド配合貼付薬」バ

チ薬」。静脈こうのように筋
肉をカバーしてくれるのでも、痛
みが緩和されるほか、薬用が持
続し流れず、長く局部に止どま
るため、効果が高い。2006
年に市販薬となり、手軽に手に
入るようになった。

のみ薬にも新タイプが出てき
ている。これまでののみ薬は、
粘膜の修復を助けるビタミン剤
が主流だったが、2008年に
は、トラネキサム酸配合で癒創
膏となる酵素を含む新製
品も登場した。

のどが痛いときに使うおなし

みのうがい薬も、意外と有効だ。

「うがい薬は殺菌作用が強いた

め、常盲溝の数を減らして炎症
を弱めてくれる」と新谷教授は
説明した。

こうしたセルフケアで症状が
良くならないなら、耳鼻咽喉科
などの医療機関を受診し、より
薬理作用の強い医療用の銘柄な
どを処方してもらおう。

虫怪といえるのがレーザー治療

。「歯科の治療で使う炭酸ガ

スレーザーで炎症が起きている

筋肉がひどい場合は大きな病

気が潜んでいる可能性がある。

ささやきとテニラップ由来の

現田裕介院長は説明する。かか

りつけの術野に相談してみよう。

筋肉がひどい場合は大きな病

気が潜んでいる可能性がある。

ささやきとテニラ